

ODAの"戦略化"が意味するもの

～ ODA大綱改定とイラク『復興』ビジネス～

講演：**神田浩史**さん

(大学教員、AM ネットワーク代表・ODA 改革ネットワーク世話人)

日時：**5月7日(水)午後6:30～**

場所：**京都大学** 文学部・新館第3講義室(2F)

TV や新聞紙面には連日、イラクに対する「復興」や「人道援助」といった言葉が踊っています。爆弾の雨を降らせておきながら、こうした言葉が米英や戦争を後押しした日本政府の口から出るというのはなんとも腹立たしいものです。とはいえ、戦争には反対したけれど、イラクの人たちのためには、やっぱりお金を出すべきでは？と思う方も多いのではないのでしょうか？

この講演会では、政府がこれまで行ってきた「援助」の現実、そして米国の軍事戦略に対するODA(政府開発援助)支出をさえ可能にする ODA 大綱改定の動きに触れ、日本に暮らす市民としてイラクの人々に対して何が出来るのか、どのような関わり方をしていくべきなのかを考えていきたいと思えます。

アクセス：

市バス 17号系統、206系統、
201系統など

バス停「百万辺」下車

京阪 「出町柳駅」下車徒歩5-10分

会場：文学部新館 第3講義室(2F)

*当日、学内に案内表示を出します。

参加費：**無料**



連絡先：小森政孝 (ATTAC 京都事務局) E-mail:saisei@mte.biglobe.ne.jp

Tel/Fax:075-706-3875

末岡友行 (ATTAC 京都大学グループ代表) Tel:090-3712-1409

Web site : <http://kattac.talktank.net/>